



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月10日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
コード番号 6678 URL <https://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

定時株主総会開催予定日 2023年6月28日

配当支払開始予定日

2023年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,367	3.4	1,649	11.4	1,668	9.9	1,150	10.2
2022年3月期	9,699	7.3	1,861	15.8	1,851	13.6	1,281	11.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	136.35		7.2	8.8	17.6
2022年3月期	150.85		8.4	10.3	19.2

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	19,443	16,386	84.3	1,933.89
2022年3月期	18,508	15,650	84.6	1,858.63

(参考) 自己資本 2023年3月期 16,386百万円 2022年3月期 15,650百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	887	155	505	11,750
2022年3月期	2,062	2,489	598	11,523

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		60.00	60.00	505	39.8	3.3
2023年3月期		0.00		60.00	60.00	508	44.0	3.2
2024年3月期(予想)		0.00		55.00	55.00		51.6	

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	6.0	600	34.4	600	31.9	400	29.4	47.39
通期	9,800	4.6	1,300	21.2	1,300	22.1	900	21.8	106.64

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	8,760,000 株	2022年3月期	8,760,000 株
期末自己株式数	2023年3月期	286,501 株	2022年3月期	339,751 株
期中平均株式数	2023年3月期	8,439,821 株	2022年3月期	8,494,402 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明会内容について)

当社は、2023年5月25日(木)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかにTDnetで開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(持分法損益等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）による社会経済活動の制限が徐々に緩和される中、緩やかな景気の持ち直しが継続しました。

一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、急速な金融引き締めによる世界経済の減速懸念などにより、先行きに予断を許さない状況が続いております。

医療業界においては、新型コロナによる医療提供体制への影響は軽減しつつあるものの、2022年4月に行われた診療報酬の改定では、本体部分のプラスが0.43%にとどまり、薬価の改定を含めた診療報酬全体としては、前回に続いてマイナス改定となるなど、業界を取り巻く環境は依然として厳しく、一層の効率化、合理化に向けた取り組みが急務となっております。

このような経営環境の中で当社は、医療施設の運営の効率化に寄与する採血管準備装置および関連システムについて、医療現場の要望に応じて、提供可能なソリューションの幅を広げながら販売活動に注力するとともに、検体検査装置の新規導入提案、消耗品等の安定供給についても、引き続き努めてまいりました。

この結果、当事業年度の売上高は9,367,586千円(前期比3.4%減少)となりました。主力製品である採血管準備装置の大型案件が前期に比べて少なかったことに加えて、消耗品である採血管の供給事業を終了したこと等により、前期の売上を下回る結果となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前期比1ポイント増加し11.7%となりました。

利益面に関しては、売上高の減少に伴い売上総利益が4,630,294千円(前期比3.9%減少)となりました。販売費及び一般管理費は、諸経費の削減を継続したことにより2,980,841千円(前期比0.9%増加)となりました。この結果、営業利益は1,649,453千円(前期比11.4%減少)、経常利益は1,668,300千円(前期比9.9%減少)、当期純利益は1,150,733千円(前期比10.2%減少)となりました。

品目別の実績は、次のとおりであります。

		前事業年度 (百万円)	当事業年度 (百万円)	前期比増減率 (%)
国内	採血管準備装置・システム	3,520	3,292	△6.5
	検体検査装置	351	346	△1.3
	消耗品等	4,792	4,629	△3.4
海外	採血管準備装置・システム	271	281	3.5
	検体検査装置	210	244	16.1
	消耗品等	553	573	3.7
合	計	9,699	9,367	△3.4

#### <採血管準備装置・システム>

当事業年度における採血管準備装置・システムの売上高は3,573,728千円(前期比5.8%減少)となりました。

国内市場における売上高は、前期に比べて大型案件が減少したことや、次年度以降に販売が延期となる案件が生じたこと等により3,292,328千円(前期比6.5%減少)となりました。一方、海外市場における売上高は、大規模施設向けの機種の販売が伸長したこと等により281,399千円(前期比3.5%増加)となりました。

#### <検体検査装置>

当事業年度における検体検査装置の売上高は591,011千円(前期比5.3%増加)となりました。

国内市場における売上高は、ハンディ型の血液ガス分析装置のモデルチェンジや、材料不足で電解質分析装置の仕入れが不安定化したこと等があった結果、346,781千円(前期比1.3%減少)となりました。一方、海外市場における売上高は、新型コロナ対応によりハンディ型の血液ガス分析装置の販売が増加したことなどから244,229千円(前期比16.1%増加)となりました。

#### <消耗品等>

当事業年度における消耗品等の売上高は5,202,846千円(前期比2.7%減少)となりました。

2022年4月をもって、消耗品である採血管の供給事業を終了したこと等により、国内市場における売上高は4,629,279千円(前期比3.4%減少)となりました。一方、海外市場での売上高は、稼働装置数の増加に伴い573,567千円(前期比3.7%増加)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産の残高は19,443,171千円となり、前事業年度末比934,926千円増加しました。これは主に、商品及び製品が543,205千円増加、現金及び預金が226,782千円増加、未収消費税等が83,757千円増加した一方、電子記録債権が99,917千円減少したことによるものであります。

当事業年度末の負債の残高は3,056,316千円となり、前事業年度末比198,156千円増加しました。これは主に、前受金が217,797千円増加、買掛金が217,013千円増加した一方、未払法人税等が121,840千円減少、未払消費税等が148,050千円減少したことによるものであります。

当事業年度末の純資産の残高は16,386,854千円となり、前事業年度末比736,769千円増加しました。これは、配当金の支払いが505,214千円であった一方、自己株式の処分106,797千円があったほか、当期純利益が1,150,733千円であったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は84.3%となり、前事業年度末比0.3ポイント減少しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、11,750,289千円（前期比226,782千円増加）となりました。なお、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、営業活動により得られた資金は887,240千円（前期比1,175,737千円減少）となりました。これは主に、税引前当期純利益が1,665,773千円、仕入債務の増加額が217,013千円であった一方、棚卸資産の増加額が636,220千円、法人税等の支払額が644,289千円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、投資活動により支出した資金は155,370千円（前期は2,489,140千円の収入）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が133,181千円、差入保証金の差入による支出が26,379千円であった一方、差入保証金の回収による収入9,748千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において、財務活動により支出した資金は505,088千円（前期比93,550千円減少）となりました。これは、配当金の支払額505,088千円があったことによるものであります。

なお、当社のキャッシュ・フロー関連指標の推移は以下のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	85.22	84.56	84.28
時価ベースの自己資本比率 (%)	82.54	71.02	82.59
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—

(注) 1. 各指標の算式は以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、マスクの着用に関するルールが変更されるなど、社会経済活動の再開に向けた動きが加速する中で、経済活動の一層の活発化が期待されております。一方で、急速な物価高の進行や原材料不足、金融引き締め継続の予想される世界経済の動向など、懸念材料も多く、先行きの不透明な状況が続くことが予想されます。

これらの見通しを踏まえ、翌事業年度（2024年3月期）の業績につきましては、売上高9,800百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,300百万円、当期純利益900百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較、企業間比較の可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,523,507	11,750,289
受取手形	30,587	40,614
電子記録債権	533,349	433,431
売掛金	3,088,090	3,100,078
商品及び製品	909,427	1,452,633
仕掛品	191,018	251,901
原材料及び貯蔵品	128,854	160,986
前払費用	36,791	28,170
未収消費税等	-	83,757
その他	31,124	5,167
流動資産合計	16,472,750	17,307,030
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,199,326	1,265,334
減価償却累計額	△674,876	△715,226
建物(純額)	524,450	550,108
構築物	2,577	5,042
減価償却累計額	△2,386	△2,481
構築物(純額)	191	2,561
機械及び装置	350,019	359,914
減価償却累計額	△228,589	△235,335
機械及び装置(純額)	121,429	124,578
工具、器具及び備品	292,694	313,396
減価償却累計額	△233,612	△251,111
工具、器具及び備品(純額)	59,081	62,284
土地	787,326	787,326
建設仮勘定	-	742
有形固定資産合計	1,492,479	1,527,602
無形固定資産		
電話加入権	1,177	1,177
特許権	1,099	868
ソフトウェア	30,739	20,935
無形固定資産合計	33,017	22,981
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
長期前払費用	49,100	97,799
繰延税金資産	363,419	375,332
その他	115,682	130,300
貸倒引当金	△25,714	△25,384
投資その他の資産合計	509,998	585,558
固定資産合計	2,035,494	2,136,141
資産合計	18,508,245	19,443,171

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,282,543	1,499,557
未払金	146,856	164,342
未払費用	81,284	86,283
未払法人税等	370,527	248,686
未払消費税等	148,050	-
前受金	296,351	514,149
預り金	9,496	9,368
賞与引当金	157,533	168,376
役員賞与引当金	21,375	19,125
前受収益	114,530	98,769
その他	1,657	1,783
流動負債合計	2,630,205	2,810,442
固定負債		
退職給付引当金	192,291	210,230
製品保証引当金	63	44
その他	35,598	35,598
固定負債合計	227,954	245,874
負債合計	2,858,160	3,056,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金		
資本準備金	967,926	967,926
資本剰余金合計	967,926	967,926
利益剰余金		
利益準備金	18,483	18,483
その他利益剰余金		
別途積立金	8,800,000	8,800,000
繰越利益剰余金	5,442,468	6,072,440
利益剰余金合計	14,260,952	14,890,924
自己株式	△648,593	△541,795
株主資本合計	15,650,085	16,386,854
純資産合計	15,650,085	16,386,854
負債純資産合計	18,508,245	19,443,171



(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	9,699,077	9,367,586
売上原価		
製品期首棚卸高	1,430,258	909,427
当期製品製造原価	4,360,965	5,280,498
合計	5,791,224	6,189,925
製品期末棚卸高	909,427	1,452,633
製品売上原価	4,881,796	4,737,292
売上総利益	4,817,281	4,630,294
販売費及び一般管理費	2,955,413	2,980,841
営業利益	1,861,868	1,649,453
営業外収益		
受取利息	1,184	162
受取配当金	1,679	1,603
受取賃貸料	6,508	6,918
受取補償金	368	1,892
為替差益	6,528	-
その他	1,207	8,751
営業外収益合計	17,476	19,328
営業外費用		
支払手数料	2,374	-
貸倒引当金繰入額	25,714	-
為替差損	-	15
その他	197	465
営業外費用合計	28,286	481
経常利益	1,851,058	1,668,300
特別損失		
固定資産除却損	-	2,526
特別損失合計	-	2,526
税引前当期純利益	1,851,058	1,665,773
法人税、住民税及び事業税	608,265	526,952
法人税等調整額	△38,592	△11,912
法人税等合計	569,673	515,040
当期純利益	1,281,384	1,150,733

製造原価明細書

		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	4,114,223	92.4	5,017,176	93.9
II 労務費		242,611	5.4	237,684	4.5
III 経費		96,513	2.2	86,520	1.6
当期総製造費用		4,453,348	100.0	5,341,381	100.0
期首仕掛品棚卸高		98,635		191,018	
合計		4,551,984		5,532,399	
期末仕掛品棚卸高		191,018		251,901	
当期製品製造原価		4,360,965		5,280,498	

(注) 原価計算の方法は、ロット別個別原価計算であります。

※主な内訳は以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
減価償却費 (千円)	67,214	53,652

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	1,069,800	967,926	-	967,926	18,483	8,800,000	4,597,660
当期変動額							
剰余金の配当							△434,496
当期純利益							1,281,384
自己株式の取得							
自己株式の処分			△2,079	△2,079			
自己株式処分差損の振替			2,079	2,079			△2,079
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	844,808
当期末残高	1,069,800	967,926	-	967,926	18,483	8,800,000	5,442,468

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
	利益剰余金合計			
当期首残高	13,416,144	△493,719	14,960,151	14,960,151
当期変動額				
剰余金の配当	△434,496		△434,496	△434,496
当期純利益	1,281,384		1,281,384	1,281,384
自己株式の取得		△164,398	△164,398	△164,398
自己株式の処分		9,524	7,444	7,444
自己株式処分差損の振替	△2,079			-
当期変動額合計	844,808	△154,874	689,934	689,934
当期末残高	14,260,952	△648,593	15,650,085	15,650,085

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	1,069,800	967,926	-	967,926	18,483	8,800,000	5,442,468
当期変動額							
剰余金の配当							△505,214
当期純利益							1,150,733
自己株式の取得							
自己株式の処分			△15,546	△15,546			
自己株式処分差損の振替			15,546	15,546			△15,546
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	629,971
当期末残高	1,069,800	967,926	-	967,926	18,483	8,800,000	6,072,440

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
	利益剰余金合計			
当期首残高	14,260,952	△648,593	15,650,085	15,650,085
当期変動額				
剰余金の配当	△505,214		△505,214	△505,214
当期純利益	1,150,733		1,150,733	1,150,733
自己株式の取得				
自己株式の処分		106,797	91,251	91,251
自己株式処分差損の振替	△15,546			-
当期変動額合計	629,971	106,797	736,769	736,769
当期末残高	14,890,924	△541,795	16,386,854	16,386,854

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,851,058	1,665,773
減価償却費	120,974	108,056
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,997	17,938
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,179	10,843
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,375	△2,250
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△40	△18
受取利息及び受取配当金	△2,864	△1,765
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25,714	△330
有形固定資産除却損	-	2,526
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,100	77,902
棚卸資産の増減額 (△は増加)	416,728	△636,220
仕入債務の増減額 (△は減少)	147,717	217,013
その他の資産の増減額 (△は増加)	17,246	△4,614
その他の負債の増減額 (△は減少)	135,300	74,907
小計	2,690,287	1,529,763
利息及び配当金の受取額	2,864	1,765
法人税等の支払額	△630,173	△644,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,062,978	887,240
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	2,568,592	-
差入保証金の差入による支出	△4,066	△26,379
差入保証金の回収による収入	4,785	9,748
有形固定資産の取得による支出	△65,740	△133,181
無形固定資産の取得による支出	△14,431	△5,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,489,140	△155,370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△164,398	-
配当金の支払額	△434,240	△505,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△598,638	△505,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,953,479	226,782
現金及び現金同等物の期首残高	7,570,028	11,523,507
現金及び現金同等物の期末残高	11,523,507	11,750,289

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社は、医療機器およびこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであります。

当事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社は、医療機器およびこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであります。

【関連情報】

前事業年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントのため、セグメント情報に代えて、製品群別の販売実績を記載しております。

(単位：千円)

	採血管準備装置 ・システム	検体検査装置	消耗品等	合計
外部顧客への売上高	3,791,965	561,456	5,345,655	9,699,077

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	ヨーロッパ	中南米	アジア	海外その他	合計
8,663,563	102,549	117,196	780,835	34,932	9,699,077

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が貸借対照表の有形固定資産の90%超であるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載をおこなっておりません。

当事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントのため、セグメント情報に代えて、製品群別の販売実績を記載しております。

(単位：千円)

	採血管準備装置 ・システム	検体検査装置	消耗品等	合計
外部顧客への売上高	3,573,728	591,011	5,202,846	9,367,586

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	ヨーロッパ	中南米	アジア	海外その他	合計
8,268,390	104,869	67,776	870,894	55,656	9,367,586

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が貸借対照表の有形固定資産の90%超であるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載をおこなっておりません。

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,858.63円	1,933.89円
1株当たり当期純利益金額	150.85円	136.35円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益 (千円)	1,281,384	1,150,733
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	1,281,384	1,150,733
期中平均株式数 (株)	8,494,402	8,439,821

## (重要な後発事象)

## (自己株式の取得)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため

## 2. 取得の内容

## (1) 取得する株式の種類

当社普通株式

## (2) 取得する株式の総数

400,000株 (上限)

## (3) 株式の取得価額の総額

724,400,000円 (上限)

## (4) 取得日

2023年5月11日

## (5) 取得方法

東京証券取引所における自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

4. その他

単一セグメント内の品目別販売実績

単一セグメント内品目別	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	前期比増減率 (%)
採血管準備装置・システム (千円)	3,573,728	△5.8
検体検査装置 (千円)	591,011	5.3
消耗品等 (千円)	5,202,846	△2.7
合計 (千円)	9,367,586	△3.4

(注) 1. 輸出高の総額及び総販売実績に対する輸出高の割合は、次のとおりであります。

輸出先	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
ヨーロッパ	102,549	9.9	104,869	9.5
中南米	117,196	11.3	67,776	6.2
アジア	780,835	75.4	870,894	79.2
その他	34,932	3.4	55,656	5.1
合計	1,035,514 (10.7%)	100.0	1,099,196 (11.7%)	100.0